

# 里山だより 2017夏

No. 9

## 田んぼの中やまわりのいきもの

7月6日に石屋小学校3年生のみなさんが環境体験学習に来ました。泥田に素足で入り、元気いっぱい取り組んでいました。たくさん見つけてくれたので紹介します。



あら、ふしぎ!

どこにでも生えている。シュウ酸があるからピカピカになるよ。

葉を渡すと「クサイ!」の声。昔から「十薬」と呼ばれ、民間薬として利用。



カタバミ



ケキツネノボタン

実はコンペイトウのような形。葉の形はボタンに似ている。キンポウゲ科で毒がある。



ドクダミ

白いのほ、花びらではなく総苞片。黄色いのは花穂 (花をさす葉)



ミノバ

別名「ウシノヒタイ(牛の顔)」。葉の形が牛の顔に見えることから。田のあぜや水辺などに群生。1年草。



オタマジャクシ



アメンボ



ミスカマキリ



トノサマガエルの幼体 (こども)



ニホンアカガエルの幼体 (こども)



ショウジョウトンボ



クロスジギンヤンマ



抜け殻



キイトンボ



卵を抱いているカルガモ 発見! ...しかし...



親鳥はどこかへ行ってしまいました... また来年きてくれるかな?